

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を2ヵ月に1回開催しているが、施設の活動報告と地域の情報交換や活動についての話し合いのみで、あまり運営やサービスの向上に活かされていない気がします。	地域との交流が密に出来るようになり、施設内での消防訓練への参加や行事等にも参加して頂ける様な開かれた施設を目指す。	運営推進会議等で話し合いの議題を決めてそれについて意見交換を行ったり、馴染みの関係が作れるように地域に向けて声を発信していく。	6ヶ月
2	35	火災に対する消防避難訓練は行っていますが、水害や地震に対する対策が出来ていないので今後想定して訓練を行う。	どのような災害に対しても対応出来るように、避難経路の確保や避難先での対応など地域とも協力出来るような体制を作っていく。	定期的に火災や水害・地震に対する避難訓練を行い、地域の協力体制が得られるように運営推進会議等で訓練等の参加を募る。	6ヶ月
3	6	身体拘束については内部研修にて学ぶ機会を設けておりますが、外部研修や勉強会などに参加出来ていないのが現状です。玄関の施錠についても閉塞感を与えているのかもしれない。	身体拘束・虐待等はありませんが、どの行為が身体拘束に該当するのかなど職員で今一度確認し、知識の向上や身体拘束・虐待ゼロを目標にしていく。	職員全員が身体拘束や虐待がないように研修などで学ぶ機会を作り、知識の向上やサービスの向上に努める。また、玄関の施錠については利用者の状態や職員の体制を考慮して解錠する時間帯を設けるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。